

五七五で描く  
「スポーツ」編

まえがき

さて、今回は、五七五で描く「動植物」たちに続く、続編として、新たな「動植物」たちの作品とともに、実に多種多彩に満ちた「スポーツの世界」を五七五で描いたら、一体、どうなるのかという「一つの試み」であり、確かに、変化に富んだ「スポーツの世界」をわずか十七文字で表現することは、余りにも言葉が少な過ぎて、ほとんど不可能に近いことかも知れないが、しかし、前回、「あとがき」で、「五・七・五」という形式で表現できるものは、何も「俳句」や「川柳」だけではなく、例えば、象徴詩、標語、その他、どのようなものでも表現でき得るものとして、それが、すなわち、「三行詩」（「五・七・五」詩）であり、「三行詩」（「五・七・五」詩）というのは、「五・七・五」の形式で書かれたものの『総称』であり、それゆえ、「俳句」も「川柳」も、まさに「三行詩」（「五・七・五」詩）のなかに入るものである。つまり、どこに「重点」を置き、何を「表現」するかによって、それぞれ「俳句」にもなれば、「川柳」にもなり、また、「象徴詩」にも、「標語」にも、その他、どのようなものにもなるということである。そして、今回は、まさに「スポーツ」に焦点をあて、その対象の特徴をとらえて、その「姿」を生き生きと描き出すことによって、その対象の「本質」を浮かび上がらせるとともに、その対象の「生命」にふれるということを、敢えて、再び、挑戦しようという「一つの試み」なのである。

平成二十八年九月吉日（決定版）

如月翔悟

目次

まえがき

五七五で描く「スポーツ」編

一、 新たな「動植物」たち

二、 五七五で描く「スポーツ」編

三、 ゲーム、ギャンブル、その他

四、 五七五の可能性を求めて  
第三部へ…その序曲…

\*

\*

一、 新たな「動植物」たち

---

ツンドラの

酷寒に棲むとや

ジャカウウシ

長き毛で

氷河期生きし

ジャカウかな

アメリカの

草原を駆けし

バッファローか

---

ロツキーの

岩上に立つや

白岩山羊

ヒマラヤの

山地で鹿狩る

ユキヒヨウか

---

北極の

海に棲むとや

シロイルカ

シロイルカ

神秘的な輪の

妙技かな

一角や

雌雄を争ふ

長き歯か

---

北極の

王者と歩む

北極熊か

北極熊の

姿にパニツク

這ひ姿

---

アンデスの  
空に舞ふ鳥

コンドルか

岩壁から

飛翔し狙ふは

屍体かな

草喰ひ

半分水暮しと

カピバラか

敵に針

逆立て振ふや

蒙猪

針こそは

身を守る術と

針鼠

---

森のテン

木登り上手の

素早さか

穴掘りの

名手と名高い

穴熊か

へびネズミ

何でも喰らふ

鼯かな

---

その顔と

木登り得意な

白鼻心

川岸に

巣掘り泳ぐは

川獺か

---

旧家の  
主人と棲むや  
守宮かな

壁天井  
窓硝子も歩く  
指の裏

灯に集ふ  
虫を捕食と  
守宮かな

陸で育ち  
泳ぎも得意な  
井守かな

穴の中ぞ  
終の住処と  
大山椒魚

---

発掘や

歴史をさぐ探る

旅行者りやうしやか

岩割いはりて

形現かたちはる

化石かせきかな

発見はつけんに

喜ぶよろこ作業さぎょうの

手仕事てしごとか

---

眠るねむ骨

堀りほて謎解なぞく

真実まことか

眠るねむ恐竜

現代いまに甦よみがへる

大恐竜だいきりゆう展

---

常夏の

心と咲くや

ハイビスカス

椰子蟹ヤシガニや

椰子の実ヤシ砕く

大バサミ

椰子の実ヤシを

廻し揉まはぎ取る

猿サルの芸

殻から捨てて

海うみから陸への

陸宿借オカヤドカリ

河に棲すむ

人魚おとと泳ぐ

マナティーか

---

森の木で

ダムと巢造つくり

ビーバーか

啄木鳥キツツキの

木を突つく音や

虫むしと穴

ひな鳥や

その日に備そなへ

羽はばたきか

---

巢立だちする

ひなを見守みる

親鳥か

親鳥や

外みで見守る

巢立だちかな

鳴く雄なやヲス

胸は黄色むねの

黄鶺鴒キビタキか

長き尾ながで

ツキヒホシと

三光鳥サンコウチヨウ

高山からさだの

岩場で鳴くいはばや

岩鶺鴒イハヒバリ

堅き実かたもみ

巧みと砕たくくくだ

鶺鴒イカルかな

虫捕むしへとら

ヒツヒツ鳴くなや

瑠璃鶺鴒ルリビタキ

---

アフリカに  
その姿ありの

ライオンか

アカシアの

棘とげに巣くふや

蟻アリの群

長き首び

ぶつけて競きそふ

キリンかな

キリンへは

もう一ひと伸びの

ジュレヌクか

森林に

原姿なキリンの

オカピかな

---

巢穴にて

昼間は眠る

ツチブタか

ツチブタや

ア리가好みと

長き舌

ツチブタの

巢穴で子育て

イボキノシシ

---

尾を立てて

暴走するか

イボキノシシ

膝つきて

草を喰ふも

イボキノシシ

---

樹上にて

昼寝むさぼる

ハナグマか

白アリの

塚を襲ふや

マレーグマ

蜂蜜が

何より好みと

ナマケグマ

羽拵

多彩と踊るか

極楽鳥

妖しくも

匂ひて咲くや

罌粟の花

---

赤蟹アカガニの

森もりから海うみへの

死しのロード

満潮まんしほの

海うみに真赤まつかな

雌メスの群むれ

殻叩からたたき

相手追あておひ出す

宿借ヤドカリか

---

宿借ヤドカリや

イソギンチヤク

背負せおふ智慧ちゑ

宿借ヤドカリの

智慧ちゑを笑わらふか

フグの口

---

身を砂すなに  
隠かくして襲おそふ

アカエソか

ハタハタや

砂すなにもぐりて

ひと休み

子育てを

口なの中なかでする

アロワナか

---

水母クラゲ喰くひ

ゆつたり泳およぐ

翻車マンバウ魚イサナか

目閉とぢたり

砂礫されきに埋うもる

河豚フグの癖

---

岩場にて

獲物を待つか

狼オオカミウラ  
魚

その顔に

似合はぬ親の

子守かな

堅き殻も

ガブリと砕く

鋭すろどき歯

ひらひらと

擬ぎじ似さそいで誘ふや

ワニガメか

指さへも

食ちひ千切ぎるとや

強ちき顎あご

---

大嘴オホハシの

取とつて付つけたる

嘴くちばしか

身ひと一つも

動うごかず待まちつか

嘴ハシ広ヒロ鶴コウ

溪流けいりゅうに

鳴なき透とほる聲こゑぞ

駒コマ鳥ドリか

---

籠かごの中なか

鳴なひて呼よび合あふ

金カナ糸リ雀アか

くるくると

滑まは車ば廻ますや

ハムスター

---

青のもの

集めて誘ふや

アツマヤドリ

羽拵ひろ

姿勢ポーズ決めるか

極楽鳥

棒くはへ

穴の虫捕とる

フィンチか

---

網投あみげて

獲物えものを狩かるか

目玉メダマ蜘蛛グモ

蜂鳥ハチドリや

空中くうちゅうで蜜みつ吸すふ

羽搏はばたきか

---

闘牛や  
角と劍との

死闘かな

しがみつく

子に乗せ樹へと

オポツサム

オポツサムを

地上で狙ふや

オセロツト

生き残り

賭けて飛立つ

蝶の群

洋ランに

虫も惹かれて

蜜の味

二、 五七五で描く  
「スポーツ」編

---

重力に

逆らふ一步の

幅跳か

跳ぶ一步

空間遊泳の

幅跳か

襟首に

砲丸据ゑる

重みかな

---

背面で

バーを越ゆる

極みかな

大空を

意志ある如く

槍の舞

---

円盤を

遠心で飛ばす

身の捻り

高さバー

棒の撓り

越ゆる身か

踏切と

三歩が勝負と

舞ふ身かな

---

大声を

上げてあと押し

ハンマー投

力強く

動く肉体ぞ

躍動美

---

躍動の

極限と走るや

アスリート

ハードルを

絶妙と超えて

激走か

マラトンの

原野を駆けし

勇士かな

自らと

闘ひつづける

孤独かな

陸上の

十種制して

真の覇者

---

最速で

自在と泳ぐ

クロールか

一かきの

進みが勝負と

脚の蹴り

手の平で

一気にかききる

背泳かな

---

ドルフィンの

動きをまねて

蝶の舞

勝敗を

一秒で競ひ合ふ

競泳か

---

ターンして

ここが勝負と

激泳か

声援に

押され追ひ上げの

ラストかな

渾身の

タッチで競り勝つ

執念か

次から次

競ふリレーの

醍醐味か

勝者らが

極泳と競ふ

メドレーか

---

板跳ねて

難技競ひ合ふ

飛込か

超難度

華麗と舞ひ入る

技の妙

力強く

ペアで魅せるか

技のきれ

華の宴

水上に咲かすや

技の華

水上で

投げ合ふ技の

水球か

---

決め球を

点テンに投げ込む

投手エースかな

来る球タマを

芯ココロで打ち抜く

好打者か

デイヘンスの

乱みだれにシユートの

一撃か

---

キーパーの

捨て身で死守の

防御かな

素早すばやくと

動いて投げ込む

シユートかな

---

一撃の

サーブ決めるか

腕うでの振り

渾身で

打ち合ふ勝負の

死闘かな

絶妙の

サーブで惑まどはす

魔球かな

レシーブを

受けてセッターの

トスワーク

ネットの上

技わざとパワーで

アタックか

---

的まじを射る

心はずでに

虚心こころかな

ひく弓ゆみの

大的おほ狙ねらふ

静しずけさか

無心むしんで

三十三間堂さんじゅうさんまんだうの

通とほし矢やか

---

一瞬いっしゆんの

隙すきを投なげ抜ぬく

一本いっぽんか

襟袖えりそでを

引ひき寄よせかかける

大技おほわざか

---

腕組みて

投げ合ふ技わざの

グレコかな

組み合ひて

素早く狙ねらふ

背後バックかな

背後取り

回転仕かけローリングの

フオールかな

---

くせ玉を

カットし狙ねらふは

打ち抜きか

浮き球を

渾身で打ち抜く

スマツシユか

---

平衡バランスの

妙技きせ競まふや

平均台

段違はずひ

華麗くわいと繰くり出す

大技だいぎか

躍動やくどうの

究極きゅうごくと連続しんりゆう技ぎで

舞まふ身みかな

手を突つきて

難度なんどな技ぎで

越こゆる身みか

旋回せんかいの

巧たくみを競まふ

鞍馬あんばかな

---

技わざの冴さえ

難度で決め成す

平行棒

力ちから技わざ

競きそふ妙技きせきの

つり輪りんかな

鉄棒てつぼうの

大技おほわざ連つらねて

究極きうごく下おりか

---

華はなやかに

舞まふ身みと手具てぐの

妙技きせきかな

華くわ麗れいにと

舞まふ身みとリボンりぼんの

極ごく美みかな

---

ここぞ、の  
仕掛けを待つか

馬と騎手

スタートを

決めてターンの

勝負がけ

ここ勝負と

踏み込む渾身の

脚力か

火をふいて

走るオートの

追ひ込みか

万が一の

当り乞ひ願ふ

宝くじか

---

立ち鋭く  
技と地力で

勝負かな

賜杯を

賭けて挑むか

千秋楽

一瞬の

突きが勝負の

フルーレか

攻撃を

全身に仕かけて

突くエペか

つくきるを

競ひ合ふ技の

サーベルか

---

決め技を

ここが見せ場と

奮ふるふ身か

殴なぐり合ふ

技わざを見切るか

身の動き

ぐらつきに

一気に攻め入る

連打かな

一撃で

必殺決めるか

拳の突

間合まあひ見て

出すか必殺の

回まわし蹴

---

渾身の

走りで繋ぐ

バトンかな

誤魔化しの

利かぬ競技の

陸上か

地離れぬ

脚が編み出す

歩みかな

---

心身を

鍛えて挑むか

鉄人レース

区間新

狙ふ走りで競ふ

駅伝か

---

舞シヤトルふ羽根

渾身で打ち抜く  
一撃か

間ま合あから

技わざを打ち込む  
気き迫はくかな

しかけ技

受けて一瞬の  
返しかな

---

空中に

舞あひて渾身の  
シユートかな

身をぶつけ

荒あふる心で  
トライかな

---

頭上へと

引き挙げ一気の

スナツチか

重量を

渾身で挙げる

ジャークかな

変幻の

球種が勝負と

ソフトかな

---

ホツケーの

妙技見せるか

ゴール前

息合はせ

人馬で超える

障害か

---

連続で

標的射貫く

射撃かな

度真ん中

撃ち貫く射撃の

醍醐味か

動く標的

素早く撃ち貫く

早業か

---

標的を

無心で射抜くや

アーチエリー

頭上の

林檎も射抜く

ボウガンか

---

帆ほを上げて

風かぜで操あやつる

ヨットかな

力ちから強く

リズムで漕こぐや

ボートかな

追おひ上げも

櫓ぶどうさばきの

カヤックか

---

片膝ひざ立て

必死せまに迫せまるか

カナダイアン

急流きゅうりゅうを

豪快ごうがいとさばく

櫓ぶどうかな

---

漕ぐリズム

合はせラストの

追ひ込みか

漕手らが

織り成す渾身の

エイトかな

周回の

最後が勝負と

フルダツシユ

かけ引きを

織りなし最後の

追ひ抜きか

自転車

段差突破の

凄技か

---

豪快な

技量で魅了の

アルペンか

勇敢に

挑むや一気の

滑降か

絶妙な

技で競ひ合ふ

回転か

---

風読みて

踏み切り勝負と

舞ふ身かな

超飛躍と

距離で逃げ切る

複合か

---

何よりも

百ひやくが勝負と  
スタートか

コーナーを

絶妙とさばく  
脚あし運び

最後ラストまで

一コンマ秒を競きそふ  
滑はしりかな

くるくると

相手追ひ上げ  
勝負抜け

こぶ山を

エア決め疾風の  
ゴールフィニッシュか

---

宙返りがへ

超難度で競ふより

エアリアル

音楽に

合はせ滑るもあ すべ

アクロかな

氷上に

想ひ通りのイメー

ストーンか

絶妙の

技を見せるかわざ

その一投

敵もなく

我も今はなき

絶対無

---

雪壁<sup>ゆきへき</sup>を

華麗<sup>くわいれい</sup>と舞ふや

スノーボード

仰向<sup>あふむ</sup>けで

疾風<sup>はし</sup>と滑<sup>はし</sup>る

木ぞり<sup>リユージユ</sup>かな

駆<sup>か</sup>け出<sup>だ</sup>しの

加速<sup>かそく</sup>に賭<sup>か</sup>けるや

ボブスレー

うつ伏<sup>うつぶせ</sup>せで

滑<sup>すべ</sup>り抜<sup>ぬ</sup>けるか

スケルトン

標<sup>マ</sup>的<sup>ト</sup>射<sup>ね</sup>貫<sup>ぬ</sup>き

距離<sup>せま</sup>で迫<sup>せま</sup>るか

バイアスロン

---

華麗なる

演技で魅せるか

アイスダンス

持ち上げと

投げで勝負の

ペアーかな

優美さと

難度で魅了の

フィギュアか

---

氷上で

技と意地との

格闘か

高速な

動きと技で

パット入れ

---

F一の

観客唸らす

轟音か

荒れ道

唸り上げ走るか

モトクロス

自転車の

極限と挑むや

ロードかな

草原を

野人と駈ける

カントリーか

絶壁を

素手で登り切る

凄技か

---

ボックスの  
多彩な攻撃で

逆襲か

ロングパス

受けてタツチへ

走り抜け

イメージと

振ふシヨツトの

一致かな

グリーンへ

乗せる確かな

シヨツトかな

ライン読み

魅せるは絶妙の

パツトかな

---

頂上へ

一歩一歩の

歩みかな

頂上で

見渡す視界の

絶景かな

波とらえ

波を乗りきる

波乗りか

---

水上で

魅せるスキーの

大技か

風読みて

巧みと操る

ヨットかな

---

大波の

崩れ乗りきる

サーフィンか

熱砂の

浜辺で魅せるか

熱きバレ―

斜面より

空中散歩の

飛び立ちか

---

身を投げて

試す度胸の

バンジーか

上空から

正に捨て身の

遊泳か

---

突タツく球マの

角カク度と技ワザ量リヤウの

妙ミョウ技ギかな

ポケツトを

狙ネふボールの

捻ヒネりかな

割ワれピンピンの

スぺア狙ネふか

勝カチ負マケ投ナげ

---

生ナマき残ノコり

賭カけてぶつけ合あふ

ドツジかな

長ナガなわの

妙ミョウ技ギ魅ミせるか

八ヤチの字ジ跳ハネび

---

筋トレで  
肉体の理想へ

改造か

軽快に

笑顔で跳ねるか

エアロビツク

身の活性と

目標へと走る

ジョギングか

身も脳も

活性うながす

ウォークかな

お年寄りの

恰好の遊具か

ゲートボール

---

瞑想や

心身安らぐ

境地かな

一輪車

巧みと乗り廻す

子供らか

馬に乗り

的を射抜くか

武者の技

---

流鏝馬や

人馬が織り成す

妙技かな

船の扇

見事に射抜くか

弓の名手

三、 ゲーム、ギャンブル、その他

---

手札<sup>てふだ</sup>見て

役<sup>やく</sup>の出来合ひ

探<sup>さぐ</sup>る眼か

場<sup>なが</sup>の流<sup>なが</sup>れ

読<sup>よ</sup>んで勝負<sup>しょうぶ</sup>の

賭<sup>か</sup>け時か

廻<sup>まは</sup>る球<sup>たまご</sup>の

確<sup>かく</sup>率<sup>りつ</sup>に賭<sup>か</sup>けるか

ル-レツト

---

見極<sup>まは</sup>めて

図柄<sup>ずがら</sup>合はせる

凄腕<sup>すごうで</sup>か

台選<sup>えら</sup>び

一心<sup>いっしん</sup>で打<sup>う</sup>ち込<sup>こ</sup>む

スボツト  
一点<sup>いってん</sup>か

---

麻雀マージャンの

魔力に魅みせられ

徹夜ていやかな

カード札ふだの

極きはみと賛美さんびの

花札はなふだか

幼児ようじでも

家族かぞと一緒に

トランプ遊あそび

---

脳トレのうとれの

小さな楽たのしみ

パズルぱずるかな

ジグソーじぐさうの

無なから完かんへの

歩あゆみかな

---

次から次

画面突破クリアの

満足感

技駆わざ使し

難関なんかん突破の

醍醐味か

極難ごくなんの

画面突破ステージの

達成感

---

異次元いじげんの

超迫力てうぱくりきと

鮮明あざやかさ

仮想バーチャルに

参加たのし楽しむ

ゲームかな

---

大局の  
形勢見極め  
打つ一手か

読み尽くし  
四三狙ひの  
連珠かな

角取りて  
白黒増やす  
読み合ひか

---

金振りの  
幾つも立てて  
進む駒

畏仕かけ  
駒を挟み取る  
巧みさか

---

高速な

技と難度で跳ぶ

ダブルダッチ

技と速さ

路上で楽しむ

スケボーか

ローラーの

技を競ひ合ふ

スラローム

醍醐味を

ゴールで味ふ

フットサル

思いつき

ボール蹴り合ふ

ベースボール

---

跳ね上りあが  
華麗と舞ふやくわい

トランポリン

サーブ決め  
戻りの球でもど

勝負打ち

浜辺にてはまべ

旗を取り合ふはた

競技かなバト

---

素潜りてもぐ

獲物採り込むと

海女の技あま

海に棲むす

生命と触れ合ふいのち

スキューバーか

七、 五七五の可能性を求めて  
第三部へ…その序曲……

---

頂へ

一歩一歩と

富士の道

辿り来て

富士に問はるる

わが心

深き夜

明けゆく富士の

日の出かな

ご来光

全身で浴びる

光輝か

観るだけで

有り難きかな

富士の山

---

盤上で

心読み合ふ

将棋かな

勝敗を

分つ一手の

読み合ひか

一切を

捨てて挑むか

大一番

---

詠上げの

聲に素早く

舞ふ手かな

一瞬の

手払ひに賭ける

歌留多取り

---

穂やかな

流れ好むや

メダカかな

穂を抜きて

鳴らすスズメノ

テツポウか

麦笛や

鳴らす田んぼの

匂ひかな

---

土手に咲く

真つ赤な姿の

曼珠沙華

触るる葉の

さつと水引く

おじぎ草

---

君が肌の

心惑はず

白さかな

耳許ももで

囁く君の

鼓動かな

お願ひと

甘える君の

罪つみの色いろ

---

何よりも

君の笑顔が

救ひかな

許されぬ

恋に燃ゆるぞ

鬼火かな

---

ときめきを

君のゆかたに

見る夜か

林檎<sup>リンゴ</sup>揉ぐ

君の面<sup>おも</sup>には

イブの微笑<sup>えみ</sup>

葡萄<sup>ブドウ</sup>狩る

君のうなじの

白さかな

薔薇<sup>バラ</sup>よりも

霞<sup>かすみ</sup>が好きと

笑ふ君

髪ほどき

ただの女と

言ふ女<sup>ひと</sup>か

---

君からの

メールをさがす

指の先

知らぬ間に

メール待つ身と

なりにけり

こんなにも

君のメールが

恋しとは

---

君からの

心読み解く

絵文字かな

いつからか

心の奥に

君の影